縄文時代へタイムワープ!! 当時のくらしはどんなもの？

上高津縄文人の生活マップ

番外編 勾玉つくってみた!!

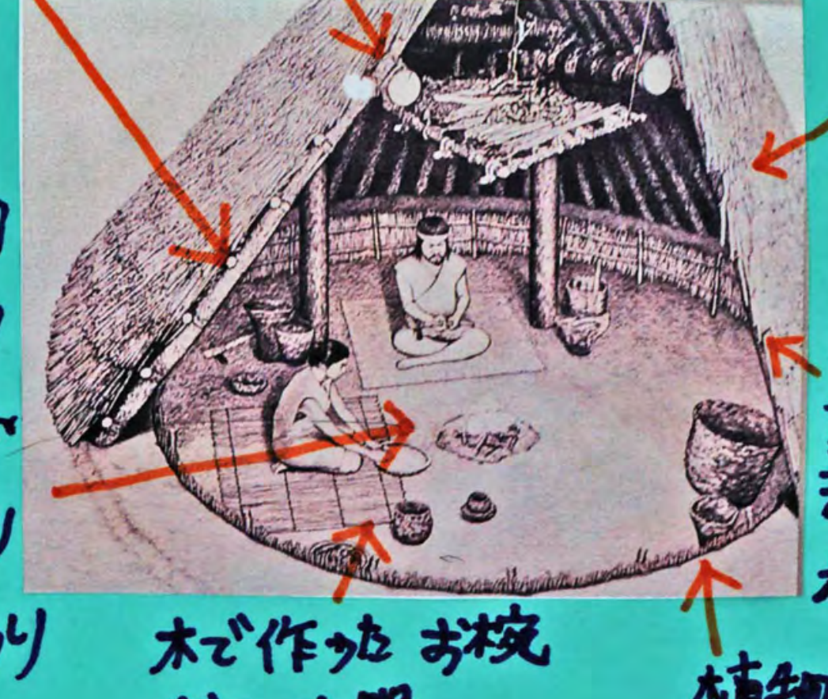
8/7(日)今日ぼくは上高津ふれあい歴史広場で勾玉づくり体験に参加しました。勾玉とは縄文人が身につけるアクセサリーで、祭り事やまよけとしてつけていたようです。材料はかっ石、やすり、ひも、文あついに使われるまいぎりという道具です。一番楽しかったのは、「まいぎり」で穴を開けるところです。つるつるでピカピカの勾玉が出来あがりました お守りとして大切にしたいです。

どんな家に住んでいたの？

夏は涼しくて冬は暖かい造りだよ！

竪穴式住居

地面をほりくぼめて床とし、くりの木などの木材で柱を建て、屋根は雨をはじく かや や 杉皮で作っている。



土器や道具などの石器類

いろりの上に食料をつるしかんそうさせて、保存をした。干した魚 栗 肉など

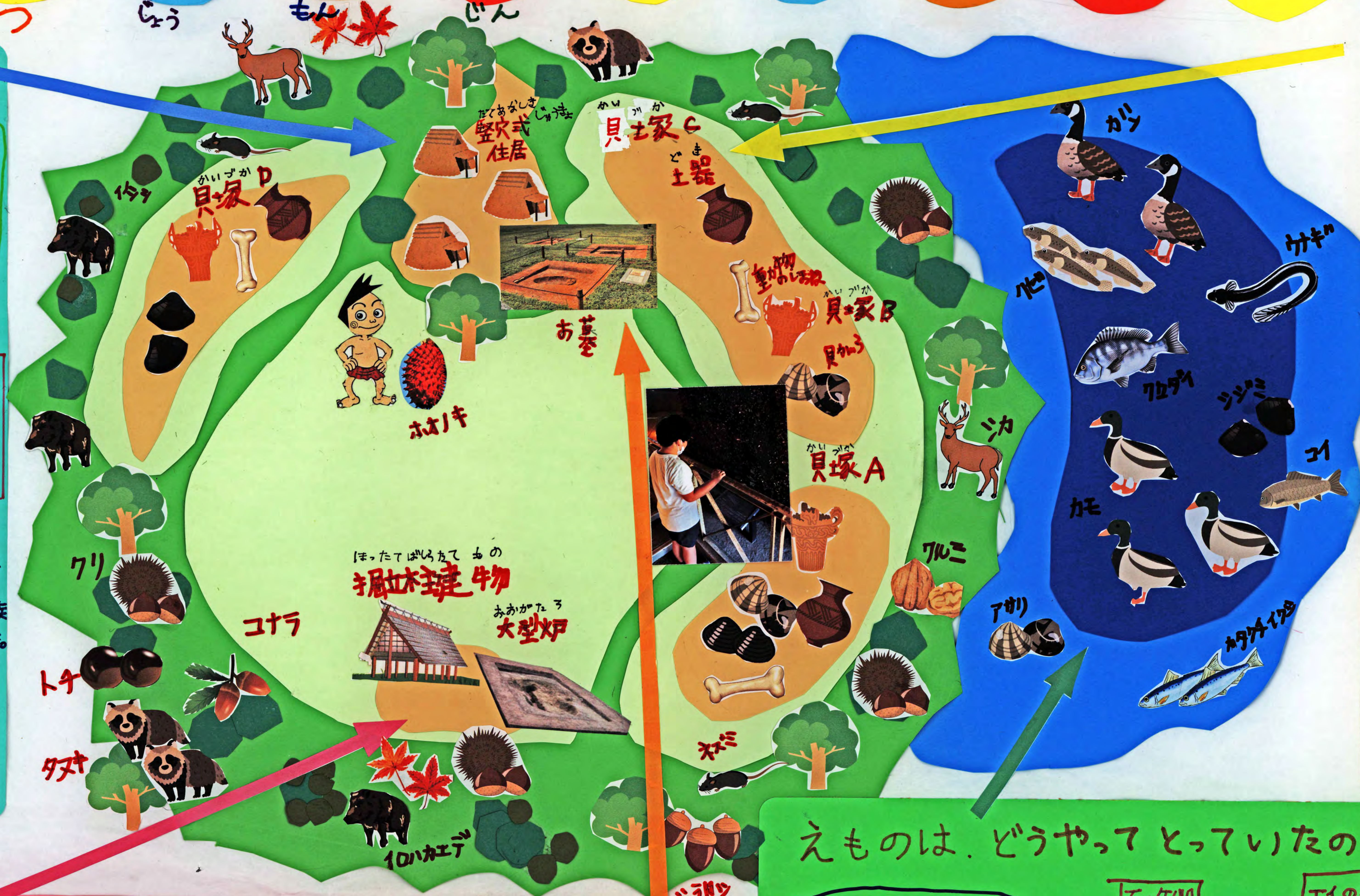
部屋の大きさは10畳くらい。3〜4人の一家族が生活していた。

いろりの役目
- 食物をにたり焼いたりした
- 照明のかわり
- 暖ぼうのかわり

ねるときには動物の毛皮やむしろをしいてねていた

木で作ったお椀 ざる 土器

植物のせんいでできたカゴ 縄 衣類をあむため



どんなものを食べていたの？

ヒント 貝塚や土の中から出てきたものを調べれば、当時の人がどんな道具で、何をつかまえて、どんな木の実を食べていたのかがわかるんだよ。

貝 ヤマトシジミ、シオフキガイ オキシジミ、ハマグリ 貝塚より出土したもの

当時上高津の付近は河口(現在の涸沼のような)が広がっていて、桜川とつながっていたそう。そこで、大量のヤマトシジミをとって、食料にしていたようです。

魚 コイ、ウナギ、ハゼ、スズキ、イワシ クロダイ カタクチイワシ 貝塚より出土したもの

当時、海は現在の6号国道近く イオンモールの辺りまで広がっていました。そこでは ハマグリやイワシなど海の魚もとって、食料にしていました。

動物 イノシシ ガン カモ シカ タヌキ、ネズミ 貝塚より出土したもの

上高津のまわりの森に生息している イノシシやシカ、水辺では ガンやカモをつかまえて食料にしていたんだね！

調味料はあったの？

ぼくたちは塩を調味料にしていたんだよ!

掘立柱建物のとなりにある大型炉では、土器を使って塩づくりをしていた跡が見つかっています。

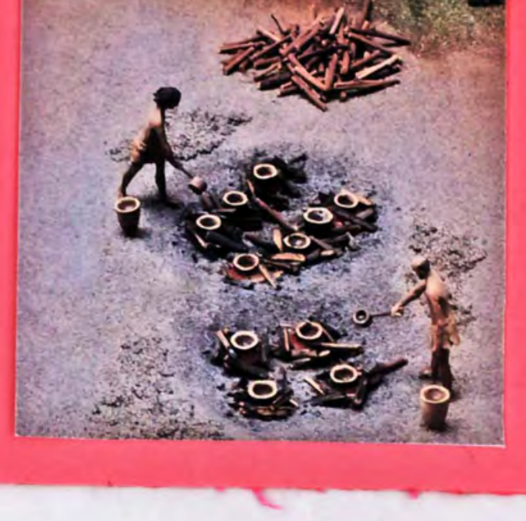
当時は、現在の6号国道付近まで海が広がっていたため、そこから上高津まで約1キロメートル海水をはこんだようです。

実際に使われた塩のついた土器

① 海藻を干す。

② 干した海藻に海水をかけて濃い塩水をつくる。

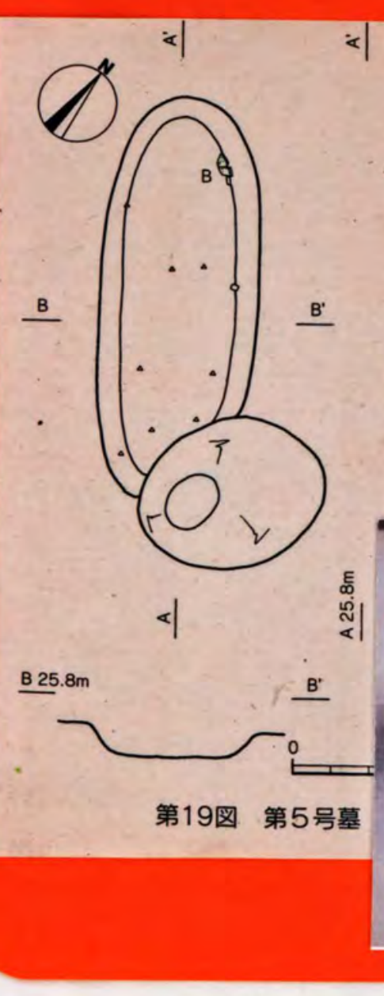
③ 濃い塩水を土器に入れ煮つめる。

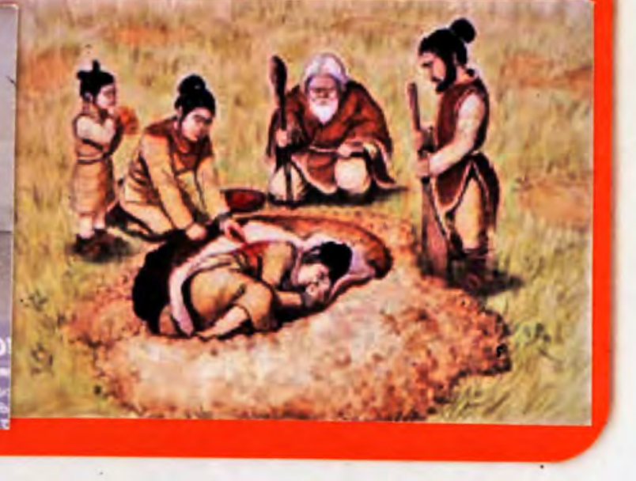


④ 土器についた塩をとる。

どのように埋葬していたの？

竪穴式住居の近くに、3カ所のお墓が見つかっています。身長140cm程の大人の女性の遺骨が見つかりました。顔には土器がかぶせられていて、足を曲げたじょうたいの屈葬で埋葬されていたそうです。



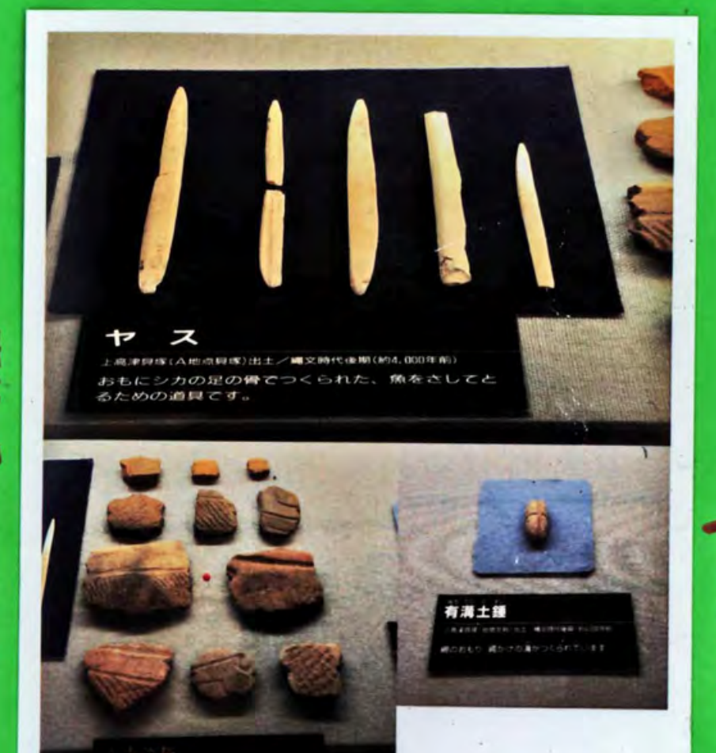


えものは、どうやってとっていたの？

貝塚から出土したもの

ヤス

魚をさしてとるための道具 シカの足の骨でつくられている。



土器片すい

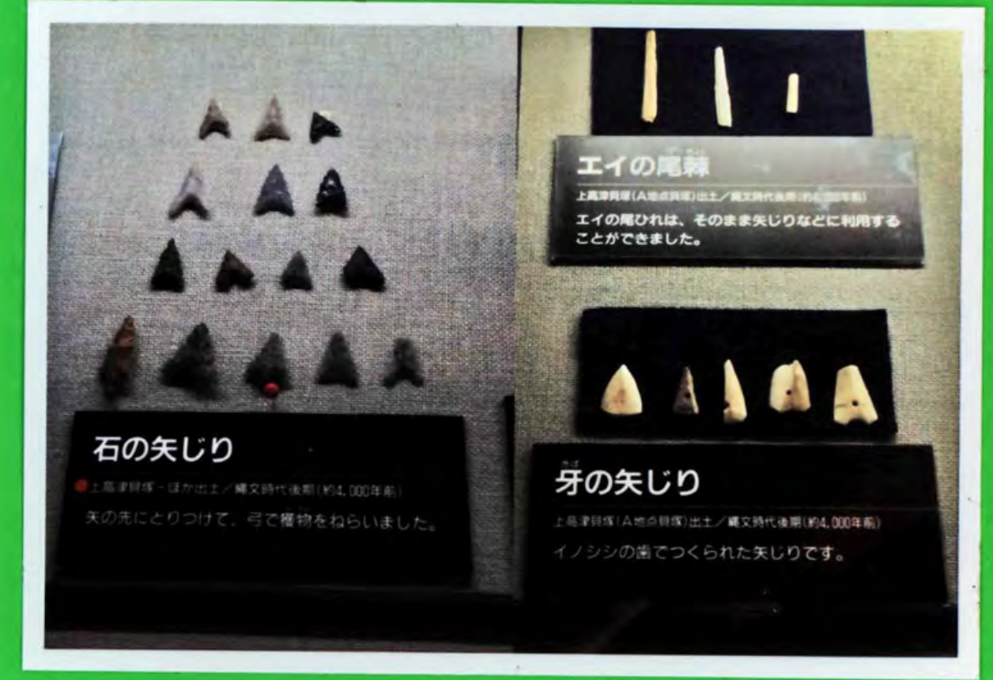
魚をとるための、あみのおもりにしました。こわれた土器を再利用しました。

石の矢じり

矢の先につけて、弓でえものをねらいました。

エイの尾きょく

エイの尾ひれは、そのまま矢じりなどに利用しました。



有溝土すい

溝にあみをかけ、おもりにしました。土器でつくられている。

牙の矢じり

イノシシの歯でつくられた矢じりです。

食べるだけじゃなく、骨まで道具として使っていたんだね。すごい!!

植物

ヒント 土の中に含まれている花粉を調べて、当時、どんな植物が生息していたのかがわかるよ。

コナラ(ドングリ) クルミ、ヤマグリ トチノキ

上高津貝塚のまわりには、食料になる木の実をつける植物が生いしげっていたんだよ。

トチノ実

ヤマグリ

石皿とすり石

ドングリやいもをすりつぶす道具 ドングリをすりつぶして粉にし焼いて、クッキーをつくっていました。

これがぼくらの食事なんだ！